



### ～必要なもの～

- ・アルファ化米 50人前
- ・お湯(※学校で用意)
- ・スプーン、パック、輪ゴム

中之島公園からの帰りは、水リュックの搬送を行いました。3人家族が一日に必要な水約8Lをリュックに入れて学校まで背負って帰りました。班毎に交代しながら運んだので小学生でも無事、持ち帰ることができました。



### ～必要なもの～

- ・緊急消防  
援助隊用  
リュック
- ・8Lの水

## 参加者の声

- 😊 楽しく勉強することができた(9歳男)
- 😊 今日習ったことを家族に話したい(9歳女)
- 😊 アルファ化米がおいしかった(9歳男)
- 😊 実災害を経験している消防士の方達の話  
を聞けることは本当に貴重な経験であつた。(校長先生)
- 😊 アルファ化米ってこんなにおいしいんやね。非常時だけじゃなくて普段から食べてもええね(女性防火クラブ員)
- 😊 遠足の後にも子供達が引き続き意欲的に防災について調べ、それぞれの班毎にテーマを決めて、学習参観の時にプレゼン大会として発表を行いました。(担任教諭)

## 改善点

今回の『防災遠足』は中央消防署で初めての試みでしたが、楽しく防災を学んでいただけだと思います。

しかし、遠足中、通行人からは何をしているのかわからないため、ツアーのような旗があればよいという意見がありました。

このほかにも、遠足らしく「しおり」を用意してはどうか、各ブースを体験すればもらえる「スタンプ」などがあっても良いなどの意見も上がり、次回の『防災遠足』に反映させたいと考えています。

## おわりに

多くの自然災害が発生し、市民の防災意識が高まっている今だからこそ、伝えていかなければならないことがたくさんあります。

まずは、「知識をもち、準備をすれば、被害は減らせる」ということを知っていた  
だかなければなりません。

この『防災遠足』は、未来を担う子供たち  
を対象とされていますが、子供たちから大人  
にも「防災」が広がると考えています。

子供がアルファ化米がおいしいと言つて  
いた、新聞紙でスリッパを作つたと言つて  
いたなど、体験したことを大人に話すこと  
で、大人も「防災」に興味をもち、そして、  
「災害」に備えていたただけるのではないでし  
ょうか。

消防署から子供たちに発信する体験型学  
習をもとに市民一人ひとりが災  
害に備え、災害が発生した時に  
は適切な行動をとることができ  
る、そんな「災害に強いまち・安  
全な都市」をめざしていきます。

※オリエンテーションで使用  
したパワーポイントやノウ  
ハウは中央消防署にお問い  
合わせいただければデータ  
をお渡しいたします。